米国の相互関税の輸出への影響・政府の対応について

2025年４月

農林水産省

米国への農林水産物・食品の輸出の状況(2024年)

○ 農林水産物・食品の輸出額（2024年）のうち、米国への輸出は、全体の２割を占める。
○ 米国のシェアが比較的高い品目は、ぶり（55%）、緑茶（44%）等。

	品目	①対米国・輸出額（億円）	②対世界・輸出額（億円）	米国のシェア（①／②）
	全製品	21兆2,948億円	107兆879億円	20%
	農林水産物・食品	2,429	14,092	17%
1	アルコール飲料	265	1,337	20%
2	ぶり	229	414	55%
3	ホタテ貝（生鮮等）	191	695	27%
4	緑茶	161	364	44%
5	ソース混合調味料	142	630	23%
6	牛肉	135	648	21%
7	清涼飲料水	94	574	16%
8	ごま油	82	120	68%
9	菓子（米菓を除く）	66	344	19%
10	練り製品	42	113	37%
14	米	25	120	21%

（出典）財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
注１：農林水産物・食品には、少額貨物を含めていない。少額貨物を含めた総額は、1兆5,071億円。 注２：米は援助米を除く。

輸出への影響に関する情報の収集・分析

○　品目ごとの米国向け輸出への影響について、米国産・他国産との競合関係や事業者からの聴取り情報などを踏まえて分析し、必要な対応を検討

【分析の視点】

- 品質面での差別化の状況
- 相互関税率を踏まえた米国産・他国産との価格の状況　　など

【米国の輸入量等】

コメ（2023年8月～2024年7月）

順位	国	輸入量	うち中短粒種	相互関税*
1	**タイ**	80万トン	5.8万トン	**36%**
2	**インド**	31万トン	3.3万トン	**26%**
3	**中国**	8.6万トン	6.4万トン	**34%**
11	**日本**	0.9万トン	0.7万トン	**24%**
輸入量合計		142万トン	20.0万トン	－

（参考１）米国生産量（2023年８月～2024年７月）	690万トン
（参考２）米国からの我が国への輸入量（2024年）	34.6万トン

牛肉（2024年）

順位	国	輸入量	相互関税*
1	**オーストラリア**	39万トン	**10%**
2	**カナダ**	37万トン	**0%**
3	**メキシコ**	24万トン	**0%**
13	**日本**	0.14万トン	**24%（上記に加え26.4%(枠外)）**
輸入量合計		165万トン	－

（参考１）米国生産量（2024年１月～12月）	1,230万トン
（参考２）米国からの我が国への輸入量（2024年）	18.3万トン

ホタテ（生鮮、冷蔵、冷凍等）（2024年）

順位	国	輸入量	相互関税*
1	**日本**	9.2千トン	**24%**
2	**中国**	4.8千トン	**34%**
3	**カナダ**	4.6千トン	**0%**
輸入量合計		25.6千トン	－

（参考１）米国の大西洋ホタテ漁獲量（むき身換算）（2023年4月～2024年3月）	10.0千トン
（参考２）米国からの我が国への輸入量（2024年）	0トン

*相互関税は、米国政府が米国時間4月2日に発表し、米国時間9日0時1分に全面的に発動した数値を記載。
米国時間9日、米国政府は、相互関税のうち一部（10%を除く「上乗せ」税率）について、適用を90日間一時停止することを認める旨発表（ただし、中国に対する追加関税は125%に引き上げ）。

注：コメ及び牛肉の米国輸入量及び米国生産量の単位はMetric Tons。
日本から米国に輸出されるコメ（精米）の関税率（相互関税を除く）は1.4セント/kg、日本から米国に輸出されるホタテ（生鮮等）の関税率（相互関税を除く）は無税。

出典：コメの米国輸入量は米国農務省（USDA）Economic Research Service「Rice Outlook February 2025」、生産量はUSDA Foreign Agricultural ServiceのHPより“Rice”をそれぞれ参照。
牛肉の米国輸入量はUSDA Foreign Agricultural Service 「Global Agricultural Trade System Online」の“ Beef & Beef Products(BICO-HS10)”、生産量はUSDA Foreign Agricultural ServiceのHPより”Beef”を参照。
ホタテの米国輸入量は、「Global Trade Atlas」、米国の大西洋ホタテ漁獲量（むき身換算）は米国海洋漁業局（NMFS)を参照。
米国から我が国への輸入量は、すべて財務省「貿易統計」を参照。
ホタテの米国輸入量及び米国から我が国への輸入量は、ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥・くん製）（HSコード：030721,030722,030729）。

政府の対応状況

○　農林水産省では、関係省庁と連携し、金融機関に対し、関税措置により事業者の資金繰りに支障が出ないよう、償還猶予や資金の融通の配慮を要請（４月３日）したほか、農林水産物・食品の特別相談窓口を農林水産省本省、地方農政局等に設置（４月４日）
○　業種横断的に支援を行う経済産業省等の関係省庁と連携し、政府一体となって、必要な対策に万全を期す。

1．特別相談窓口の設置（経済産業省・農林水産省）
経済産業省では、地方経産局及び全国の政府系金融機関、商工団体、中小企業基盤整備機構等に、米国による関税措置の影響が懸念される企業からの様々な相談を受け付ける特別相談窓口を設置（全国約1,000箇所）
農林水産省では、農林水産物・食品の特別相談窓口を農林水産省本省、地方農政局等に設置（４月４日）

2．セーフティネット貸付の要件緩和（経済産業省）
日本政策金融公庫等が実施するセーフティネット貸付の要件を緩和し、支援対象を、米国の関税措置の影響を受ける事業者にまで拡大

3．官民金融機関への相談呼びかけ（内閣府、金融庁、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省）
農林水産省を含む関係省庁で連携し、官民の金融機関に対し、資金繰り等に重大な支障を来すことがないよう、償還猶予や資金の融通の配慮を要請

4．日本貿易保険（NEXI）による資金調達等の支援（経済産業省）
日本貿易保険（NEXI）は、輸入関税措置により影響を受ける、北米等で事業活動を行う日系子会社の資金ニーズに応えるため、運転資金の調達を支援。また、関税措置に起因した損失を、輸出保険のカバー対象に追加

（参考）日米間の農林水産物貿易の状況（2024年）

○　農林水産物に限っていえば、米国は日本にとって最大の輸入相手国であり、日本が大幅な貿易赤字
○　全体では、日本が８兆６千億円の貿易黒字

（単位：億円）

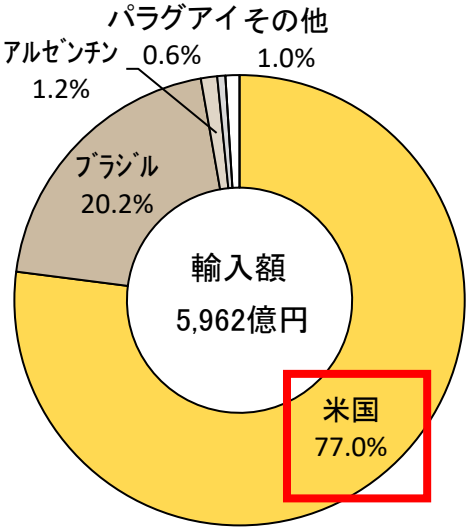
	輸出 （日本→米国）	輸入 （米国→日本）	輸出－輸入
総計	212,952	126,535	86,417
農林水産物	2,429	22,306	▲19,877
牛肉	135	1,802	▲1,667
コメ	25	511	▲486

（財務省貿易統計）

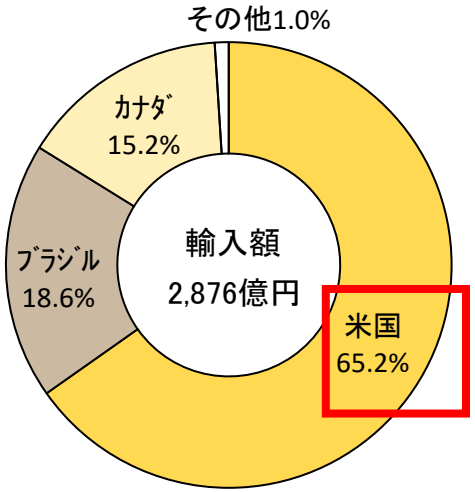
日本の農産物の輸入に占める国別の割合（2024年）

○　我が国にとって、米国は、主要農産物の第1位／第2位を争う輸入相手国

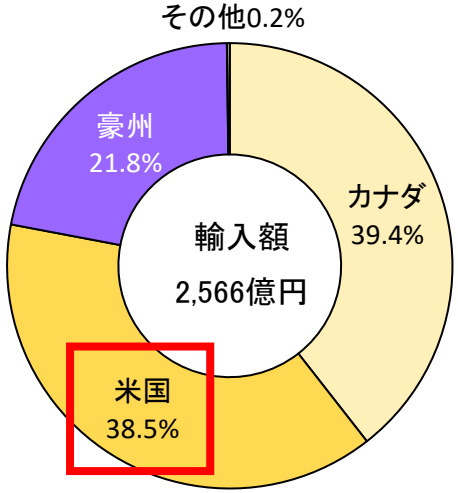
とうもろこし



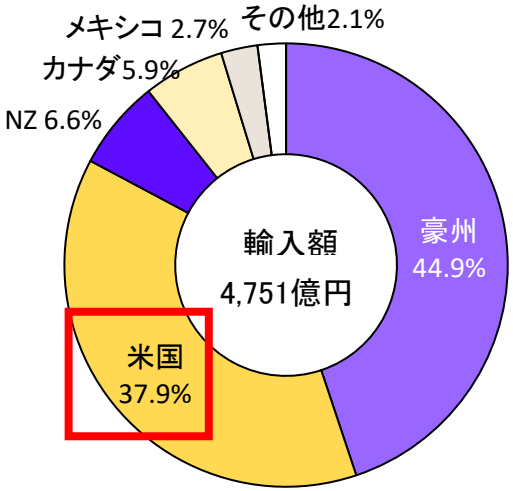
大豆



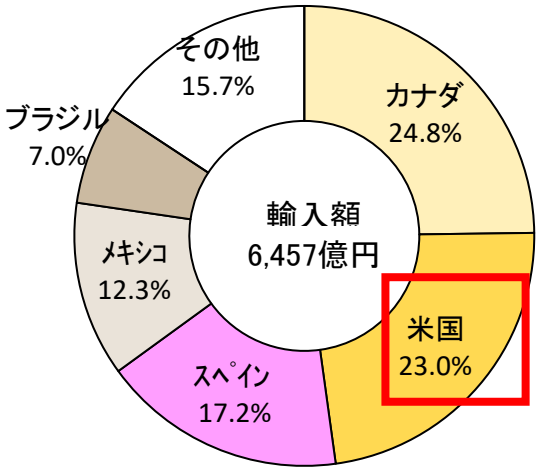
小麦



牛肉



豚肉



出典：財務省貿易統計

（参考）米国の農産物輸出額（2024年）

出典：USDA/FAS GATS

○　米国にとって、我が国は農産物の主要輸出先国

品目	各国への輸出額（億ドル）	日本への輸出額（億ドル）	日本の順位（日本が占める割合）	その他の輸出先国
とうもろこし	139	28	2位（20%）	1位：メキシコ（40%） 3位：コロンビア（11%） 4位：韓国（5%） 5位：カナダ（3%）
大豆	245	10	6位（4%）	1位：中国（52%） 2位：メキシコ（9%） 3位：ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ（5%） 4位：ドイツ（4%） 5位：エジプト（4%）
小麦	59	5.8	3位（10%）	1位：メキシコ（18%） 2位：フィリピン（12%） 4位：中国（9%） 5位：韓国（8%）
牛肉・牛肉製品	105	19	2位（18%）	1位：韓国（21%） 3位：中国（15%） 4位：メキシコ（13%） 5位：カナダ（9%）
豚肉・豚肉製品	86	14	2位（16%）	1位：メキシコ（30%） 3位：中国（13%） 4位：カナダ（10%） 5位：韓国（8%）